

### 第3回ひらつか男女共同参画推進協議会(書面開催)

#### 議題2 市民意識調査に基づく指標について【意見一覧】

##### (1) 現行プランの指標について

指 標	理 由
6歳未満の子どもを育てている夫婦世帯における、夫の家事参加時間	新型コロナウイルスの影響で在宅時間の増加が増え、当該時間も増加していると思われるため、前回と同様に比較はできないと思う。

##### (2) 次期プランの指標について

指 標	理 由
男女平等意識について	問1の男女平等感において、低い分野が何かを把握して指標にすれば、固定的な男女の役割分担意識の状況やプランに盛り込んでいる事業の成果が測れると思う。
ワーク・ライフ・バランスの実現度について	生活と仕事の調和が推進できているか、市民の主観的な観点から把握することができ、男女共同参画の推進状況を測れると思う。
テレワーク、多様な働き方の普及について	コロナ禍において、今後も各企業、団体の働き方が変化していくと思われる。男女共同参画の推進において、多様な働き方の普及は重要であり指標としてはどうか。
育児休業を「利用できる」と答える市民の割合について	男女がともに活躍できる社会の実現に向け、育児休業制度がどの程度普及しているのかを把握することは重要である。
男性の育児・介護休暇の取得率について	夫がどれくらい育児や介護に携わっているのか、携われる環境や制度が整っているのかを把握することは、同時に女性活躍の推進状況を測ることができると思われる。
25～44歳の女性の就業率について	女性活躍の推進状況を測る指標として、子育て期の女性が、仕事と子育てを両立できているかどうかを把握できる指標になると思われる。
ワーク・ライフ・バランスの認知度について	「ワーク・ライフ・バランス」という言葉の認知度は、男女共同参画の推進状況を測る根本的なバロメーターとなるため。